

13 倒れていた高齢者を協力して救助した

推薦者 青島地区補導員会

受賞者 森 叶羽（青島中1年） 池谷 泰誠（青島中1年） 中山 暖万（青島中1年）

安藤総一郎（青島中1年） 有ヶ谷駿太（青島中1年）

善行日 令和6年 10月23日

内 容 登校中、顔から出血して倒れている高齢者を見つけた。5人は近くにいた大学生と協力して、高齢者の安全を確保していたところを、通勤途中の中学校教員が気づき、その後の対応を教員に任せて登校した。高齢者は救急搬送され、大事に至らなかった。



14 転倒しそうになったところを助けた

推薦者 青島地区補導員会

受賞者 澤口 虎春（青島中2年）

善行日 令和6年 12月3日

内 容 夕方、自転車を押す高齢者が、よろめき、転倒しそうになったところを助けた。高齢者は怪我や事故にならず、その様子を目撃していたドライバーから学校に連絡が入った。



15 倒れていた高齢者を救助した

推薦者 青島地区補導員会

受賞者 片岡 李香（青島中3年） 鈴木 美結（青島中3年）

善行日 令和6年 4月9日

内 容 道路で倒れている高齢者を見つけた。素早く近くの大人を呼び、救急搬送の要請と安全確保を行った。高齢者は大事には至らず、後日、家族から学校にお礼の連絡が入った。



「思いやり ありがとう」発行によせて

青少年が、心豊かに明るく健やかに、そしてたくましく成長することはすべての市民にとって共通の願いです。

しかし、世界に目を向ければ、戦争や経済不安、そして気候変動が起こり、世界のどこかで今も誰かが苦しんでいる状況は、決して「遠い国の話」ではないのです。

日本は「平和で豊かな国」と言われてきましたが、物価高騰による経済格差やネット社会の進展によって、最近では犯罪の低年齢化、そしてSNSを使った事件の増加など青少年を取り巻く環境も激変しています。

本市では、青少年が健やかに成長できる環境を整えるための一環として、青少年補導員の皆様に夜間の市内巡回や帰宅指導、あいさつの声掛け運動などをお願いしています。

この「善行の記録」は、日々活動している補導員や地域、学校から寄せられた、「（今、目の前で）困っている人を助けよう」「自分が住む地域をキレイにしよう」と思い立ち行動した子どもたちの行動の記録です。

自ら考え、又は友達と一緒に行動した、その優しさや思いやり、地域貢献の心を是非ほめてあげてください。そして「地域の子は地域で守り育てる」ために活動する補導員の皆様へのご理解ご協力、そして温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

藤枝市青少年補導センター所長

思いやり ありがとう



藤枝市青少年補導センター
（事務局）
藤枝市生涯学習課 青少年係
〒426-0023 藤枝市茶町1-5-5
☎054-643-3047

受賞者紹介

令和6年中に「善行賞」を受賞された方たちです。（敬称略・順不同）

- 増田英奈、近藤愛來
- 川端彩希、向島凜七、丸山美月、高野るな、山下明咲妃、仲沢月那
- 中川瑛太、辻本空大、四野宮慧山、石神響貴
- 石垣恵、谷津明咲、服部未来、桑名美羽
- 橋本拓実
- 小林翔偉、高橋愛翔
- 今村眞優
- 杉山実優
- 岡寄隼、岡寄迅
- 池ヶ谷慧真、石橋いろは、萩原希心
- 服部華乃、白幡紗矢、花村奈々、池谷晏奈
- 松林瑛太、木場義弘、柴田蓮、福田隼也、岡野光希、麻布瞬矢
- 森叶羽、池谷泰誠、中山暖万、安藤総一郎、有ヶ谷駿太
- 澤口虎春
- 片岡李香、鈴木美結

善行賞とは

青少年補導員会が、他者への思いやりや地域社会への貢献など、他の模範となる青少年の善行を積極的に取り上げ、表彰することで、青少年健全育成の推進と思いやりの心の広がりにつながるよう取り組んでいます。

()内は、善行当時の学年です。

1 小学生を学校まで送っていった

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 増田 英奈 (高洲中1年) 近藤 愛来 (高洲中1年)

善行日 令和6年 4月25日

内容 登校中、登校班から遅れてしまった小学生とその母親を見かけた。困っている様子だったため、「一緒に小学校まで行きますよ。」と声を掛け、小学生を学校まで送っていった。



2 けがをした小学生を介抱した

推薦者 青島地区補導員会

受賞者 川端 彩希 (青島北中3年) 向島 凜七 (青島北中3年) 丸山 美月 (青島北中2年)

高野 るな (青島北中2年) 山下明咲妃 (青島北中1年) 仲沢 月那 (青島北中1年)

善行日 令和6年 4月23日

内容 階段で転んでけがをした小学生を見つけたため、6人で役割分担して近くの中学校への報告や救護の依頼、小学生の荷物の運搬などを行った。中学校で応急手当を受けた後、小学生と一緒に下校した。



3 修学旅行先で救助活動を行った

推薦者 藤枝地区補導員会

受賞者 中川 瑛太 (藤枝中3年) 辻本 空大 (藤枝中3年) 四野宮慧山 (藤枝中3年) 石神 響貴 (藤枝中3年)

善行日 令和6年 5月15日

内容 法隆寺のトイレの中で立てなくなった男性を見つけた。助け起こそうとしたが上手く立てない様子だったので4人で協力して声掛けや介抱をしながらトイレの外へ運び出した。男性の意識が薄れていってしまったので、近くの売店の方に救急車の要請を依頼した。

4 けがをした女性を助けた

推薦者 西益津地区補導員会

受賞者 石垣 恵 (西益津中1年) 谷津 明咲 (西益津中1年) 服部 未来 (西益津中1年) 桑名 美羽 (西益津中1年)

善行日 令和6年 5月16日

内容 登校中、自転車に乗った女性が転倒する様子を見かけたため、4人で協力して女性を助けた。絆創膏などで応急手当をしたあと、自転車を代わりに引いて女性の勤務先まで送っていった。その日は雨が降っており、お互い濡れないよう傘を差し掛け合った。後日、女性から学校へお礼の連絡が入った。

5 困っている高齢者に声を掛けた

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 橋本 拓実 (高洲中2年)

善行日 令和6年 6月12日

内容 登校中、困っている様子でウロウロしている高齢者を見かけた。声を掛け話を聞いてみたが、つじつまの合わない話をするため、近所の方と協力して警察に通報した。その後、高齢者の家族からお礼の電話が入った。



6 協力して高齢者を助けた

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 小林 翔偉 (高洲中2年) 高橋 愛翔 (高洲中2年)

善行日 令和6年 5月17日

内容 下校中、自転車が倒れてしまい困っている高齢者を見つけた。2人で協力して壊れてしまった自転車を修理したり、倒れたときに用水路へ飛ばされた帽子を代わりに拾った。後日高齢者から学校へお礼の連絡が入った。



7 ごみ捨てを手伝った

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 今村 眞優 (高洲中2年)

善行日 令和6年 9月27日

内容 登校中、ごみ袋を持った高齢者を見かけた。両手に袋を持っていたため、代わりにごみステーションの蓋を開け、ごみ捨てを手伝った。その後、高齢者から学校へお礼の連絡が入った。



8 一緒に横断歩道を渡った

推薦者 藤枝地区補導員会

受賞者 杉山 実優 (藤枝中2年)

善行日 令和6年 10月9日

内容 コンビニ前の横断歩道で、歩行器を使って歩く高齢者を見かけた。横断中に信号が変わってしまったため、高齢者を介助し、渡り終えるまで付き添った。



9 倒れていた高齢者を見つけ、近所に助けを求めた

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 岡寺 隼 (高洲小5年) 岡寺 迅 (高洲小3年)

善行日 令和6年 7月26日

内容 夕方、2人で犬の散歩をしている途中、玄関先で大きな板の下敷きになり倒れている高齢者を見つけた。「大丈夫ですか」と声をかけるとともに、隣家に助けを求めた。その後、高齢者は病院で手当を受けたが大きなけがは無く、後日学校へお礼の連絡が入った。



10 道に迷って困っている高齢者を助けた

推薦者 広幡地区補導員会

受賞者 池ヶ谷慧真 (広幡中2年) 石橋いろは (広幡中2年) 萩原 希心 (広幡中2年)

善行日 令和6年 10月31日

内容 下校中、自宅がわからなくなり困っている高齢者から声を掛けられた。高齢者の話を聞きながら自宅があるだろう方向へ向かったが、中学校の近くまで来てしまったので、学校に事情を説明し、職員に後をお願いした。その後、職員が無事自宅まで送り届けた。

11 苦しんでいた高齢者を助けた

推薦者 高洲地区補導員会

受賞者 服部 華乃 (高洲中1年) 白幡 紗矢 (高洲中1年) 花村 奈々 (高洲中1年) 池谷 晏奈 (高洲中2年)

善行日 令和6年 10月15日

内容 苦しそうにうずくまる高齢者を見つけたので声を掛けた。高齢者から「しんどくて」「お巡りさんと呼んでほしい」と頼まれたため、協力して交番へ知らせに向かったり、高齢者に付き添い声掛けをした。その後、皆で交番に移動し、高齢者の家族がお迎えに来た。後日、警察官と高齢者から学校へお礼の電話が入った。

12 落とし物を学校へ届けた

推薦者 青島地区補導員会

受賞者 松林 瑛太 (青島中3年) 木場 義弘 (青島中3年) 柴田 蓮 (青島中3年)

福田 隼也 (青島中3年) 岡野 光希 (青島中3年) 麻布 瞬矢 (青島中3年)

善行日 令和6年 4月11日

内容 登校中、路上にスマートフォンが落ちていたため、拾って学校に届けた。教頭先生が交番へ拾得物として届出をした為、後日スマートフォンの所有者から学校にお礼の連絡が入った。

